

事業所名

有限会社ハーヴェスト マザーズ四十万

支援プログラム

作成日

2026年

4月

1日

法人（事業所）理念		当社は、障がい児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、社会との交流を図ることができるよう、当該障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うことを目的に放課後等デイサービスを適正に運営します。				
支援方針		<p>当社は、保護者及び障がい児の意向、障がい児の適正、障害の特性その他の事情を踏まえた放課後等デイサービス計画を作成し、これにもとづき障がい児に対して指定放課後等デイサービスを提供すると共に、その効果について継続的な評価を実施すること、その他の措置を講ずることにより障害児に対して適切かつ効果的に指定放課後等デイサービスを提供する。</p> <p>(1) 事業所は、利用する障がい児の意思及び人格を尊重して、常に当該障がい児の立場に立った指定放課後等デイサービスの提供に努める。</p> <p>(2) 事業所は、地域及び家庭との結び付きを重視した運営を行い、都道府県、市町村、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」（平成 17 年法律第 123号）第 5 条第 1 項に規定する障害福祉サービスを行う者、児童福祉施設その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との連携に努める。</p> <p>本人支援に関しては、5領域と関連付けられている当社で策定したマザーズメソッド(活動プログラム)を毎日実施することで児童への継続的支援を実現する。</p>				
営業時間	平日	10時	15分から	18時	15分まで	送迎実施の有無 あり なし
営業時間	土曜・長期休暇中 及び振替等の学校 休業日	9時	0分から	17時	0分まで	
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<p>主に、マザーズメソッドにおけるライフスキル・SST領域に該当。自立支援と日常生活の充実のための活動を目的に、子どもの発達に応じて必要となる基本的日常生活動作や自立生活を支援するための活動を行う。</p> <p>将来、就労し自立していくために、衣食住にまつわる基礎的な知識と実践力、金銭管理や緊急時対応、余暇の充実など、日常生活を送るために必要なスキル(ライフスキル)、伝える、質問する、頼る、謝る、など他者と良好な対人関係を築くために必要なスキル(ソーシャルスキル)を築くために実施。</p> <p>【主なプログラム内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗濯、お金の使い方、気候に合った服装など 				
	運動・感覚	<p>主に、マザーズメソッドにおける感覚統合領域に該当。発達段階に合った体の動かし方ができることで生活の安全を確保し充実した生活が送れるようになることを目指す。子供が意欲的に関われるような遊びを通して、成功体験の積み増しを促し、自己肯定感を育めるようにする。</p> <p>感覚統合とは、「生活の中で、さまざまな感覚器官を通じ、絶えず身体に入ってくる複数の感覚(五感・固有受容覚・前庭覚など)を正しく分類・整理し、取り入れる脳の機能」のことである。この機能により、その場その時に応じた感覚調整や集中が可能になり、周囲の状況の把握とそれをふまえた行動(自分の身体の把握・道具の使用、人とコミュニケーションなど)ができるようになる事を目的に実施。</p> <p>【主なプログラム内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体幹&柔軟、ボールあそび、サーキットなど 				
	認知・行動	<p>主に、マザーズメソッドにおける創作活動領域に該当。表現する喜びを体験できるようにする。日頃からできるだけ自然に触れる機会を設け、季節の変化に興味を持てるようにする等、豊かな感性を培う。</p> <p>身の回りにあるもの、季節を感じられるものを使い、発想力・創造力を高める。作業療法の視点を取り入れ、個性や感性を伸ばす療育的工作プログラムで、指先の動きや目と手の協調性を促し、巧緻運動能力や協応運動能力を培い、楽しめる活動の中で、集中力・判断力向上など認知機能へも働きかける内容としている。</p> <p>また、出来上がった作品を、友だち・家族と共有するコミュニケーションの場、自己表現の機会を促し、自己肯定感など心理機能へも働きかける。</p> <p>【主なプログラム内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛乳パックをつかった工作、ストローや紙コップをつかった工作、落ち葉などのアートなど <p>感覚統合領域においても、認知・行動につながる療育活動も実施</p> <p>【主なプログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知機能プログラム、表現あそびなど 				

言語 コミュニケーション	<p>主に、マザーズメソッドにおけるライフスキル・SST領域に該当。他者との良好な関係を構築するために必要となる言語スキル(音韻、語彙、表現、伝達)、ソーシャルスキル(伝える、質問する、頼る、謝る等)を獲得するための活動を行う。 日々の生活で実践できるよう日常生活の場面を切り取り、レクリエーションゲームやロールプレイ等で、より実践的なやり取りや場面に適した行動が練習できる内容としている。</p> <p>【主なプログラム内容】 ・言葉遊び、あいさつ、気持ちを伝えるなど 感覚統合領域、創作活動領域においても、言語・コミュニケーションにつながる療育活動も実施</p> <p>【主なプログラム】 ・音楽あそび、わらべうたあそび、メッセージカードなど</p>		
人間関係 社会性	<p>主に、マザーズメソッドにおけるライフスキル・SST領域に該当。他者との適切な関係を築くことだけでなく、仕事を円滑に進めていく、安全に生活を送る等、社会の一員として自立するために必要な知識やスキルを獲得するための活動を行う。 小集団での遊びを通じルールを理解する、相手を不快にさせない言動を考える等、常に相手を意識した活動内容としている。学校長期休業中には、日々の療育の実践として、地域交流の場で習得したことを用いて他者との関係を構築できる機会を設けている。</p> <p>【主なプログラム内容】 ・学校のマナー、公共のマナー、対人マナーなど 感覚等合領域、創作活動領域においても、人間関係・社会性につながる療育活動も実施</p> <p>【主なプログラム】 ・ドッジボール、桜の木のアート作りなど</p>		
家族支援	<p>・家庭での支援の方法や悩み・不安の共有などを目的に年に1回～2回の保護者会を実施する。 ・通所児童が安定した生活をおくり、健康に学校へ通えるように様子を見守る。その中で変化等が見られた場合は、適切な支援・助言ができるよう、保護者との情報共有を密にし相談援助ができるようにしていく。</p>	移行支援	<p>・児童の安定的な生活支援のため、学校へ訪問する等して学校での支援方法を取り入れられるようにしていく。 ・生活の場が変わるタイミング(入学、就労など)で移行支援会議を実施する。</p>
地域支援・地域連携	<p>・インクルージョンの取り組みとして定期的に地域交流イベントを開催する。 【主なイベント】チャレラン大会、公共交通機関を使ってお出かけ 老人会との交流 ・地域の開催するイベントなどへの参加を積極的に行い、地域の方と触れ合う機会を作る。 【主なイベント】お仕事体験、ボランティアの方を招いての活動、警察署・消防署等への見学など</p>	職員の質の向上	<p>毎朝、勉強会の実施 発達障害における知識向上のための定期テストの実施 顧問弁護士による法令遵守研修 虐待防止・身体拘束防止、感染症対策等の社内研修会の実施 外部研修への積極的な参加の推奨 交通安全にかかる講義受講や定期的な車両点検実施等</p>
主な行事等	<p>夏休み：夏祭りの開催、秋：チャレラン大会 など その他：地域交流にかかるイベント（例：お仕事体験、施設訪問）、公共施設への見学会（警察署や消防署など）</p>		